

## 介護事故およびヒヤリハットについて

ふるさとの丘では、介護事故予防および介護事故再発防止のために、各部署のスタッフからヒヤリとした介護内容および介護事故につながってしまったことなどを迅速に報告させています。そして、これらの報告書を各スタッフが共有し、介護事故防止に役立てております。

今回は、平成30年4月1日から平成30年9月30日の間において報告された介護事故(3件) およびヒヤリハット(31件)の内容の一部を開示させていただきます。

### ■介護事故

#### [平成30年4月29日] 一入所

午後3時頃、立位不安定なご利用者が居室で車椅子から立ち上がろうとして、バランスを崩し転倒してしまいました。

直ちに看護職員が全身チェックをしましたが、発赤や外傷等は見られませんでした。ご利用者が後頭部と左足大腿部に痛みを訴えていたので、午後4時頃、三島メディカルセンターへ受診(休日診療)、検査の結果、左足大腿骨の骨折と診断されました。

医師の判断により翌日、静岡医療センターで改めて検査の上、手術(約2週間の入院予定)をすることになりました。

#### ⇒(改善)

居室から移動する際には、必ずナースコールで介護職員を呼んでいただくことを継続し、さらに夜間については見回りの回数を増やすことにしました。

#### [平成30年8月29日] 一入所

午後1時5分頃、リビングで過ごされていた対象者が、椅子から立ち上がり2、3歩ほど歩いた所で床に尻もちをついてしまいました。歩行が不安定のため、バランスを崩して転倒してしまったと思われます。

すぐに介護職員が外傷等の確認をしたところ、発赤や外傷等は見られませんでした。右足に痛みの訴えが有りましたので病院受診をすることにしました。

午後2時30分頃、三島東海病院へ受診(休日診療)した結果、右大腿骨転子部骨折と診断され、午後4時頃、三島中央病院に転院(入院)することになりました。

#### ⇒(改善)

歩行が不安定なのに、椅子から急に立ち上がって歩こうとするので、今後は介護職員が直ぐに対応しやすいテーブルを使用したり、移動する際は車椅子の使用もお願いしていくことになりました。

### □ヒヤリハット

#### [平成30年4月2日] 一入所

午後8時25分頃、所在確認で居室を訪室すると、対象者が見当たらないため、各居室のサッシの施錠を確認したところ、リビングの窓が開錠されており外階段の下に座っている対象者を発見しました。

介護職員2人で抱えてリビングに戻り、外傷等の確認をしましたが、発赤や外傷等は見られませんでした。

#### ⇒(改善)

夜間の施錠(二重ロック)を徹底すると共に、落ちつかない時には介護職員が一緒にいる時間を増やしたり、センサーマットを設置したりして対応することにしました。

#### [平成30年6月22日] 一入所

午前2時30分頃、声がするので訪室するとベッド足元の床に靴を履いて座っているご利用者を発見しました。すぐに介護職員が外傷等の確認をしましたが、発赤や外傷等は見られませんでした。

ご利用者は、朝だと思い起床した際に、床に座り込んでしまった様でした。

#### ⇒(改善)

夜間、体交のために電気をつけた際の明かりで目を覚ました可能性が考えられましたので、今後は、薄灯りにて体交を行い、安眠し易い環境にしました。

#### [平成30年5月20日] 一ショート

午後11時30分頃、トイレ内からガタガタとドアの音がしたので、駆け付けるとご利用者がトイレ内で尻もちをつく様に倒れていました。すぐに看護職員が外傷等の確認をしたところ、立位良好で外傷も見られませんでした。左臀部に少々赤みがありましたので、湿布貼付の処置をしました。

#### ⇒(改善)

コールを押さず立ち上がる可能性はある利用者様の場合は、トイレの近くで見守る様にする事と、ご本人に声かけを行い、ナースコールを押していただくよう促していく様にしました。